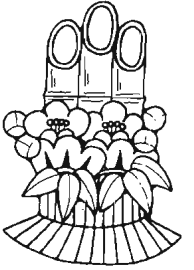


10 周年記念特別号

あけまして

おめでとうございませぬ



西谷地区まちづくり協議会

会長 井上浩成

平成 16 年度は、西谷地区まちづくり協議会が設立されて 10 周年を迎えました。

この 10 周年を節目に、さらなる発展を祈念いたしました。去る 11 月 3 日に記念式典と地域挙げてのレクリエーション大会を計画致しました。自治会長の皆様は元より協議会委員さん、スポーツ 21 のメンバーの皆さんが本心に熱心に積極的に取り組みを戴きました。準備万端整いまして後は当日の晴天を待つのみとなりました。しかしながら去る 10 月 20 日当地

西谷地区まちづくり協議会

設立 10 周年のお祝い

宝塚市長 渡部 完

西谷地区まちづくり協議会の設立 10 周年をお祝い申し上げます。

西谷地域の 27 団体の皆様が集集され、平成 6 年 7 月 8 日に明るく住みよいまちづくりを目標に、西谷地区まちづくり協議会が設立されました。

を襲った台風 23 号の風雨は各地区に大きな被害をもたらし、特に武田尾地区には甚大な被害をもたらしました。

式典どころではなくりましたが、この結果したエネルギーは多大な被害を受けられた武田尾地区の復興の一部となり、また、協議会にとっても次の催しの大きな力になるものと存じます。改めて被災を受けられました皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

またこの間に当協議会にいただきました西谷地域の皆様方のご協力とご指導に對しまして厚くお礼申し上げます。

さて当西谷地域に、協議会が誕生した当時は兵庫県の実施される宝塚新都市計画がスタートいたしました。用地の買取が始まりました。地域の人々は美しい自然を生かした基幹道路の整備や公共、公益的な都市施設の充実が、図っていただけけるものと、大きな期待をし、胸をふくらませました。しかし、社会経済状況の大きな変化に伴って、今はこの計画は足踏状況になっています。本格的な計画実施は先になるにしても、広大な用地を当

面の間どのような活用を図るのか、県市において今、検討されているところであります。

又、第 2 名神高速道路の施工とインフラチェーンジの設置等気になるところでございます。今後とも地域に住まう私たちにとっては現在最も重要な問題であります。

この点につきましては北部対策協議会を中心に議論を交わし、協議を進めて、より良い事業の遂行を促していかなければなりません。

話はまちづくり協議会にもどします。現在まちづくり協議会では総務、福祉、環境、広報、青少年・文化、人権啓発、自主防災、健康スポーツと 8 つの部会を設けまして、各部長さん先頭に住みよい地域づくりを進めるためにご活躍をいただいております。

特に本年はまちづくり計画策定の最終年度となっております。西谷地区の最大の課題は「自然との共生の中でいかに安全で快適な生活を送れるか」であります。すなわち①安全な地域づくり(災害や交

貴会の自主的・自立的なまちづくり活動が、市内各地でも繰り広げられますことを望むところであります。

最後になりましたが、設立 10 周年を機に、西谷地域のコミュニティの輪がより一層太く、さらなる歴史を重ねて行かれますよう、ご期待申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と、会員皆様のご健康を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

通事故、犯罪の防止。②福祉コミュニティの充実。③都市施設の整備。④人の心をはぐくむ、教育文化の推進。⑤生き生きとした生活を支える産業の育成等の施策が求められています。これらを基本理念に計画策定をいたしております。

この地域の素案に基づいて、今後市当局とヒアリングを行い地域の願いをより多く取り入れていただき市の今後の事業計画に反映して戴かなければなりません。また当面の課題としては、昨年経龍見起先生より宝塚市に寄贈下さいました、旧屋敷におきまして待ち望んでおりました、(仮称)住民センターの建設がまもなく始まります。

現在、この会館の有効利用と運営などについて市と、協議をいたしているところでございます。その他最近特に問題となっております環境に対する取り組みなど、住みよい地域づくりを図るためご尽力いただいております。さらに昨今地域の皆様の関心の高い環境、文化、芸術等の方面にも多くの人々の意見を拝聴して活発な意見を交わし、住み

よい西谷を目指してまいります。いと思っております。そして、この協議会が 20 周年の節目を無事迎えることが出来たことを願っております。最後になりましたが、西谷地域のみならずの発展と皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



西谷まち協設立十周年に想う

元まち協会長 前坂定義

宝塚市が誕生して今年で五十年、その十年前に「西谷まちづくり協議会」が誕生しました。

住民が主役である、住民で何ができるか、目標はわかりやすく、趣旨を住民に周知する。これが「まちづくり協議会」を作ろうとしたときに示されたコンセプトでした。西谷地区は自治会を中心として活動してきた伝統があります。自治会連合会を中心として各団体に回ったところ賛同を得ましたので、早速、地区内のあらゆる団体・グループを網羅した「まち協」設立に向けて動き出し、平成六年七月八日市長を迎えて結成総会を開催し、宝塚市で七番目の「まち協」として発足したのです。

まず、取り組むべきは「まち協」のPRだと広報部を池西幸代さん・岸恭子さんを中心とする女性ボードのメンバーによって立ち上げて「西谷コミュニティだより」を年三〜四回発行していただきました。その出来栄は素晴らしいので他地区の広報誌を足元に寄せ付けない紙面で、皆さんから賞賛の言葉を頂きました。

その勢いを駆って「西谷まち協」の名を

広めようと「わらび座」公演を計画し、文化部・総務部の皆さん、実行委員会のメンバーが手弁当で資金集めに奔走し、公演を目前に控えた平成七年一月十七日の阪神淡路大震災に一度は公演中止を検討しましたが、こんなときにこそ元気を出すべきだとの意見で実施を決定、チャリティ公演として三月十二日「わらび座公演・コウノトリ大空へ」を開演、南部地区からの来場者を含め観劇された皆さんから「感動した」「元気を貰った」など賞賛の言葉を頂いたことは忘れられない思い出となりました。

その後も、青空映画会（11回）の開催、陶芸教室の設置・西谷スポーツクラブの結成など数え切れない思い出がありますが、「西谷郷土史編集協議会」福本弘司会長のご尽力で西谷郷土史「山あいの村」シリーズ全三冊を発行できたことは生涯最高の幸せであったと想っています。福本さん・岸さんをはじめ関係の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

永らく会長を勤めさせていただき平成十三年退任しました後も、役員各位のたゆまない努力によって環境部の新設など活躍の場が益々広がっていることに心からの敬意と感謝を申し上げます。「西谷まち協」の益々の発展をお祈りいたします。

「まちづくり協議会」のあゆみ

まちづくり協議会 10周年記念事業 実行委員長 仲林 修

新年明けましておめでとうございませう。昨年度はまち協 10周年記念行事等に格別のご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。台風 23 号の被害がなければ計画通り記念事業が挙行されておりましたが、この紙面をお借りして報告いたします。

「市民主体・市民参加によるまちづくりと、人間性の回復」を国のコミュニティ政策の理念として、昭和 44 年に自治省に設置されました。その後「市民としての自主性と責任を自覚して、地域性と各種共通の目標を持った、開放的でも構成員相互に信頼感のある集団」として成

平成 6 年 7 月 8 日 西谷地区まちづくり協議会発足
平成 9 年 総務部会
広報部会
青少年文化部会
福祉部会
人権啓発部会
自主防災部会
健康スポーツ部会
平成 11 年 環境部会
平成 12 年
平成 14 年

熟しつづくと国民生活審議会及びコミュニティ問題小委員会から報告され現在に至っております。

宝塚市では、平成 5 年度よりコミュニティ課を設置し、本格的なコミュニティ施策の取り組みに着手し概ね小学校区単位でまちづくり協議会の組織化の推進が始まり現在では 20 の協議会が発足しております。

西谷地域においては、平成 6 年 7 月に市内では 7 番目に「西谷地区まちづくり協議会」が発足しました。その趣旨は、「地域住民が新しい連帯感のあるコミュニティ作り」に寄与し「心豊かなまちづくり」「みんなが主役のまちづくり」を目標として始まりました。現在では地域内 27 の各種団体及び代表で 8 部会が構成され活動を行っておりますがその経緯は左記の通りです。

協議会全般の運営と行政との交渉
情報と文化の伝達
青少年育成に力を注ぐ
助け合いとふれあいの推進
人権を尊重しあらゆる差別をなくする
安心で安全な生活を目指す
多世代が多種目のスポーツ活動を展開し健康で明るく楽しい人生を送る
西谷地域の豊かな自然を生かし、後世に引き継ぐための取り組みを推進する

の役割とあり方

以上の 3 つのテーマで話し合いがされました。

3 つのテーマとも共通していえることは人の心のわかる生活・くらしが出来ればよいと思われまます。これからも人権啓発運動に取り組んでいきたいと思ひます。

*** 人権啓発部より ***

昨年の 7 月 3 日（土）まち協人権啓発部会による各種団体の人権問題研修会を開催し
1. 家庭内生活での人権
2. 祭りごとについて
3. 子育ての男性（父）、女性（母）



表彰後功労者を囲んで
右 清水 勲さん（自治会連合会会長）
中 前坂 定義さん（元まち協会長）
左 井上 浩成さん（現まち協会長）
他の受賞者の方々
個人、辻 博見さん
龍巳 赴さん
中山 綾子さん
団体、西谷老人クラブ連合会

「西谷地区まちづくり計画」

5 分科会のテーマと街づくりの観点

第 1 分科会「災害防止」、安全で快適なまちづくり。第 2 分科会「福祉・コミュニティ」、ふれあいと協働のまちづくり・健康で安心して暮らせるまちづくり。第 3 分科会「教育・文化」、人に温かく豊かな心をはぐくむまちづくり・お互いの「心のひだ」にふれあう人づくり。第 4 分科会「産業・労働」、いきいきと活力のあるまちづくり。第 5 分科会「環境・自然」、自然と共生するまちづくり。